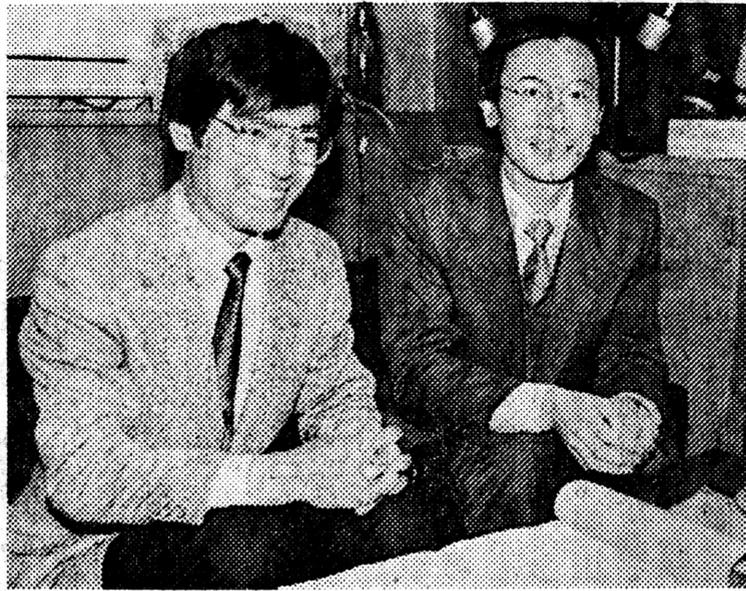


雑賀崎に東洋一のヨットハーバー

世界一周の青木さん計画 知事に協力求める



東洋一のヨットハーバー計画を作った青木さん(右)と谷口さん



三十畝、入り江の部分二十畝の計五十畝とし、約千二百隻のヨットが停泊できる棧橋を設ける。

陸地部分にクラブハウスなどのセンターゾーン、レストラン街、ショッピングセンターなどの商業施設ゾーン、博物館、美術館などのミュージアムゾーンなどの施設を考えている。

総工費は約三百五十億円、これまで国内最大のヨットハーバーの三百五十隻程度

青木さんは「ハーバーは無料にし、国際的なものにした」と話し、近く雑賀崎に住む人たちに説明会を開くという。

説明を受けた仮谷知事は「担当部で検討したい」と答え、興味を示した。

手づくりのヨット「信天翁(あほうどり)二世」で世界一周した青木洋さん(三七)と和歌山市東高松)が、友人の建築設計士谷口正己さん(三七)(同市湊通丁北)らの協力を

得て、同市雑賀崎に東洋一のヨットハーバーの建設計画を立て、二十日、仮谷市長と知事に協力求めた。

計画によると、雑賀崎の北端部に造成、面積は陸地部分

和歌山版